

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年03月26日

計画の名称	福島市の雨水対策事業（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和06年度（3年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	福島市													
計画の目標	下水道施設の整備により浸水被害の軽減や水質の改善を行い、災害に強く安全安心な暮らしの実現と美しい水環境の更なる向上を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3,760	A	3,757	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.07	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R4当初)	(R5末)	(R6末)
1	計画期間において雨水渠の整備を640m実施する。			
	計画期間における雨水渠の整備を実施した延長(m)	0m	340m	640m
2	計画期間において樋管の改修を1箇所実施する。			
	計画期間における樋管改修を完了した箇所数（箇所）	0箇所	1箇所	1箇所
3	合流改善事業の実施率を0%（R4当初）から100%（R6末）に増加させる。			
	合流改善事業を完了した箇所の割合 合流改善事業実施率(%) = (合流改善事業を完了した箇所数(箇所)) / (合流改善事業を実施すべき箇所数(箇所))	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（ 雨水）	新設	信夫山排水区浸水対策	雨水渠整備 L=640m（全体 L =890m）	福島市	■	■	■			245		－
	A07-002	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（ 雨水）	改築	阿武隈川左岸第七排水区 浸水対策	樋管改修	福島市	■	■				237		－
	A07-003	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（ 合流）	改築	雨水滞水池改築（水質保 全）	施設改築	福島市	■	■	■			2,488		－
	A07-004	下水道	一般	福島市	直接	福島市	ポンプ 場	改築	第 1 ポンプ場改築（水質 保全）	施設改築	福島市	■	■				646		－
	A07-005	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（ 污水）	改築	下水道地震対策事業（管 渠）	管渠耐震化	福島市		■	■			34		－
	A07-006	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（ 合流）	改築	下水道地震対策事業（管 理棟）	管理棟耐震化	福島市		■	■			7		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	福島市	直接	福島市	ポンプ 場	改築	下水道地震対策事業（ポ ンプ場）	第 1 ポンプ場耐震化	福島市			■			0		－
	A07-008	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（ 雨水）	改築	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水ハザードマップ見直し、 雨水関連計画策定	福島市		■				7		－
	A07-009	下水道	一般	福島市	直接	福島市	管渠（ 雨水）	新設	浸水対策事業調査	浸水被害箇所調査設計	福島市		■	■			77		－
	A07-010	下水道	一般	福島市	直接	福島市	ポンプ 場	改築	福島市下水道施設耐水化 事業	下水道施設の耐水化	福島市	■	■	■			16		策定済
											小計						3,757		
										合計						3,757			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	福島市	直接	福島市	－	－	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水ハザードマップ印刷	福島市			■			3	－	
		基幹事業である（2-A-9）に加え、浸水被害時に必要な情報や、避難行動をわかりやすく市民に広報し、防災意識の向上を図る。																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体である福島市において評価を行い確定	令和7年度
	公表の方法
	福島市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	浸水対策について ・樋管改修を実施したことにより、事業所及び隣接する一般住宅の浸水被害を軽減することができた。 合流改善事業について ・雨水滞水池の設置、越流堰の嵩上げ等を実施したことにより、公共用水域の水質の改善を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	浸水対策（ソフト対策）について ・内水ハザードマップにおける想定条件の見直しを図り、より規模の大きな降雨に対する浸水想定図を作成し、市民への配布及び市ホームページにて公開した。これにより浸水被害箇所の情報提供、円滑な避難をこれまでより更に促すことができた。

○特記事項（今後の方針等）

・災害に強く安全・安心な市民生活の確保、水環境の向上を図る ・下水道施設の耐水化・耐震化について、計画に基づき対策工事を行う。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	640m	工法見直し及び見直しに伴う送電線の移設等に時間を要したことため。
	最 終 実績値	0m	
2			
	最 終 目標値	1箇所	
	最 終 実績値	1箇所	
3			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	